

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

08002790 A

(43) Date of publication of application: 09.01.96

(51) Int. CI

B65H 39/11 B65H 31/24 G06F 3/12

(21) Application number: 06132273

(22) Date of filing: 14.06.94

(71) Applicant:

RICOH CO LTD

(72) Inventor:

MOTEGI AKIHIKO YAMAZAKI SHIGERU KANEKO MASARU NARITA MASAKI KOMAI HIROSHI

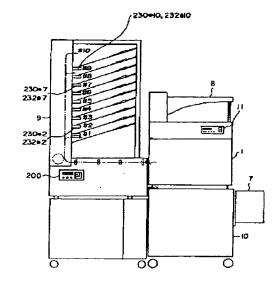
(54) IMAGE FORMING SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide an image forming system, which can be utilized conviniently by many users, excellent in usability capable of attaining also holding confidentiality.

CONSTITUTION: In an image forming system comprising a host computer, laser printer 1 and a mail box 9 having a plurality of bins #1 to 10 controlled by a command from the host computer through communication between itself and this printer, a user of an arbitrary bin #N of the mail box 9 is registered, and when intended an output to the registered bin #N by a user except the registered user, a bin number of an output destination is displayed in a display device displaying output information from the host computer. In the case when output by a user not registered to the registered bin #N, outputting by the other user is displayed in a display device of the host computer of the registered user.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

I

特開平8-2790

(43)公開日 平成8年(1996)1月9日

技術表示箇所

G06F 3	31	B65H 39	(51)Int. C1.
/12	31/24	1	
z		В	機別記号
			庁内整理番号
			۴I

審査請求 未請求 請求項の数4 10

(全10頁)

(71)出題人 000006747 株式会社リコー

(72)発明者 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(22)出願日

(21)出願番号

特願平6-132273 平成6年(1994)6月14日

茂手木 章彦 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会

(72)発明者 國政 社リコー内

社リコー内 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会

(72)発明者 金子の脚

件リコー内 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会

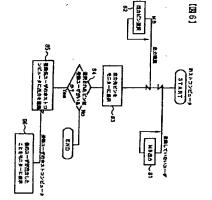
(74)代顯人 弁理士 武 蝦次郎 (外2名)

現終買に続く

(54)【発明の名称】画像形成システム

ステムを提供する。 性の保持も図ることが可能な使用性に優れた画像形成シ 【目的】 多くのユーザが便利に利用でき、かつ、機密

と、このプリンタとの間の通信を介して前記ホストコン 録されていない使用者が出力したとき、登録された使用 されたピン#Nに出力しようとしたとき、ホストコンピ 使用者を登録し、登録された使用者以外の使用者が登録 ステムにおいて、メイルボックス 9 の任意のピン# Nの ~10を有するメイルポックス9とを備えた画像形成シ **ドュータからの命令によって制御される複数のドン#1** 者のホストコンピュータの表示装置に他の使用者が出力 ン数を表示させる。その際、登録されたピン#Nに、登 ュータからの出力情報を表示する表示装置に出力先のビ 【構成】 ホストコンピュータと、レーザプリンタ1



【特許請求の範囲)

のプリンタとの間のシリアル通信を介して前記ホストコ を有するメイルボックスとを備えた画像形成システムに ンピュータからの命令によって制御される複数の収納段 【請求項1】 ホストコンピュータと、プリンタと、こ

ホストコンピュータからの出力情報を表示する表示手段

前記メイルボックスの任意の収納段の使用者を登録する

登録された使用者以外の使用者が登録された収納段に出 表示させる制御手段と、を備えていることを特徴とする 力しようとしたとき、前記表示手段に出力先の収納段を 画像形成システム。

の画像形成装置。 出力した旨、表示させることを特徴とする請求項 1 記載 夕の表示手段に、当該登録された使用者以外の使用者が が出力したとき、登録された使用者のホストコンピュー 当該登録された収納段に対して登録されていない使用者 【請求項2】 前記制御手段は、登録された収納段に、

【請求項3】 前記制御手段は、登録された収納段に登

録された使用者以外の使用者の出力の可否を設定可能で 使用者が設定可能であることを特徴とする請求項 1 記載 する登録されていない使用者の出力許可を、登録された あることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成システ 【請求項4】 前記制御手段は、登録された収納段に対

【発明の詳細な説明】

の画像形成システム。

を有するメイルボックスを備えた画像形成システムに関 ステムに係り、さらに詳しへはプリンタに複数の収納段 ン、パソコンシステムおよびプリンタを含む画像形成シ ュータを用いた各種ネットワーク、ワークステーショ 【産業上の利用分野】この発明は、複数のホストコンピ

[0002]

の例として例えば特開平4-48323号公報記載の技 像形成システムが使用されるようになってきている。こ とを分けて種々の情報の授受を行うように構築された画 わゆるメイルボックスを接続し、個人と共用の排紙装置 【従来の技術】画像形成装置に個人管理用排紙装置、い

印刷データが印刷された用紙が収納され、パスワードが 定結果に応じて印刷された用紙を特定人のものとそうで た印刷データが、特定の利用者以外に見られないように ないものとに適り分けて排紙する排紙手段と、特定人の であるか否かを判定する手段と、この判定する手段の判 するために、印刷データが予め定められた特定人のもの 【0003】この公知技術は、印刷装置で印刷出力され

8

特開平8-2790

を備えたものである。 たときのみ、用紙を取り出すことができるスタッカーと 入力されて、このパスワードが特定人のものと判定され

[0004]

が進んだネットワークシステムにおける使用性に問題が ので、バスワードが設定されていないユーザには、複密 あった。 れていない多くのユーザの使い脚手が悪く、機器の共有 保持機能を利用することができず、バスワードが設定さ システムでは、あらかじめバスワードが設定されている 【発明が解決しようとする課題】ところで、このような

使用性に優れた画像形成システムを提供することにあ 艦みてなされたもので、その目的は、多くのユーザが便 判に利用でき、かり、機密性の保持も図ることが国語な 【0005】この発明は、このような従来技術の実状に

[0006]

8 のプリンタとの間のシリアル通信を介して前記ホストロ 示手段に出力先の収納段を表示させる制御手段とを備え 者が登録された収納段に出力しようとしたとき、前記表 者を登録する登録手段と、登録された使用者以外の使用 を有するメイルボックスとを備えた画像形成システムに た構成とした。 表示手段と、前記メイルポックスの任意の収納段の使用 おいて、ホストコンピュータからの出力情報を表示する ンパュータからの命令によって慰倒される複数の収納吗 め、本発明は、ホストコンピュータと、プリンタと、 【課題を解決するための手段】前記目的を達成するた

納段に、当該収納段に対して登録されていない使用者が の表示手段に、当該登録された使用者以外の使用者が出 出力したとき、登録された使用者のホストコンピュータ 力した旨、表示させるようにするとよい。 【0007】この場合、前記制御手段は、登録された収

に登録された使用者以外の使用者の出力の可否を設定で 可を、登録された使用者が設定できるようにするとよ された収納段に対する登録されていない使用者の出力的 きるようにするとよく、さらに、前記制御手段は、登録 【0008】また、前記制御手段は、登録された収納段

[0000]

8

使用者は、用紙が出力された収納段を特定できる。 あるか表示する。これによって、その登録されていない 当該収納段に用紙を出力しようとしたとき、ホストロン によって当該収納段に対して登録されていない使用者が 用したい収納段を登録手段によって登録しておく。これ ピュータは、前記表示手段に当該収納段がどの収納段で 【作用】上記のように構成した場合、使用者は自身が使

ន 使用者は、自分の出力した用紙を取り出すときに登録し されていない使用者が出力した旨表示すると、登録した 【0010】また、登録した使用者の表示手段に、登録

ない使用者の用紙の粉失を防ぐことができる。 ていない使用者の用紙との混同を防止でき、登録してい

にとって機密保持が必要な場合は出力を禁止するように 対する出力の町否を決定できるので、登録された使用者 の使用が可能となる。 し、他の使用者の出力を許可することで、多くの使用者 方、機密保持がさして必要でない場合には、出力を許可 設定して機密保持機能を確保することが可能になる。一 【0011】また、制御手段は、登録している収納段に

用者の出力に対して、特定の使用者のみに自由に使用の ブ性を持たせることが可能となる。 叮否を設定できるので、そのピンを使用する者にグルー 【0012】さらに、登録した使用者が、自分以外の使 [0013]

【実施例】以下、この発明の実施例について図面を参照

「ボックス (個人管理用排紙装置)を付設したこの発明の 実施例に係る画像形成システムの概略構成図、図2は画 略構成図、図3はプリンタの接続関係を示すシステムプ 像形成システムにおけるプリンタの機械的構成を示す数 【0014】図1はプリンタ(画像形成装置)にメイル

を有する大量排紙ユニット(LCOT)8と、封筒等の は、図1の大量抹紙ユニット8に代えて、10個のピン ニット (LCIT) 7を装着したもので、ある。図2 うための両面ユニット6を備えるとともに、大量給紙ユ 構成されている。また、下部には、画面プリントを行な 腰の強い紙を排紙するための後排紙トレイ 5 とによって カセット2及び下給紙カセット3と、上下二段の抹紙部 ンタは、レーサプリンタ本体(LP本体)1と、上給紙 タの機械的構成について説明する。図2において、プリ 【0015】 (概略構成) まず、図2を参照してプリン

မ

は、それぞれ異なる文字種のフォントデータを格納した けられ、また、同様にレーザプリンタ本体1の上部に 作表示パネル11は、レーザブリンタ本体1の上部に設 様なシステム構成を得ることができる。なお、後述の操 紙ユニット8、及びメイルポックス9の選択により、多 のレーザブリンタが組み込まれたシステムは、オプショ B」とも称する。) 9をレーザブリンタ本体1の側方 12, 13が備えられている。 RAMあるいはROMを内蔵したフォントカートリッジ ンである両面ユニット6、大量給紙ユニット7、大量排 (#1~#10)を備えたメイルポックス (以下、「M (左側) のテーブル9 a.上に並べて装着したもので、こ 【0016】 【レーサプリンタ (画像形成手段) 】レー

8

を構成している。

に設けられ、下側に転写チャージャ30が、また、搬送 には、さらに帯電チャージャ(メインチャージャ)3 32,33が設けられている。感光体ドラム29の周囲 25と後排紙ローラ26との間に1対の用紙進路変更爪 れぞれ設けられ、さらに、定着器31下流の送出ローラ 間の般送路の上側にOPC感光体ドラム29が回転可能 ベルト24と送出ローラ25との間には定君器31がそ 【0017】レジストローラ23と搬送ベルト24との

೪ 5 4、現像ユニット35、クリーニングユニット36、お レーザ魯込みユニット40からなる。このレーザ魯込み 47、第2ミラー46、及び防魔ガラス48等を備えた 体レーザからのレーザ光を反射して走査するポリゴンミ びクリーニングユニット36と共に引出し18に装着さ ユニット40自体については公知のものであるので、 ラー(回転多面鏡)44、18レンズ45、第1ミラー されている。曹込系は、ここでは図示されていない半導 れ、これらの各部によって作儀系が構成されている。 35は、現像モータ38、トナーカートリッジ39およ よび除電用LED37が配設されている。現像ユニット 【0018】この作像系の上部には香込系の各部が配置

駆動するためのメインモータ57や、電源ユニット58 するためのメインファン55が備えられている。用紙搬 基板51と2枚のコントローラ基板52を内蔵したプリ ニット59等が配置されている。 及び各チャージャに高電圧を印加するための高圧電源ユ 送路の下側には、感光体ドラム29や各ローラ等を回転 ックファンち4、およびレーサブリンタ本体 1内を冷却 3が設置され、さらにPCBを冷却するためのPCBパ ント回路基板(以下、「PCB」と称する。) ラック 5 【0019】この香込茶の上部には、プリントエンジン

出口には定着出口センサ61が問題されている。 はレジストセンサ60が配設され、定着器31の用紙の は、それぞれこのレーザブリンタ本体 1 に対して着脱自 いる。なお、レジストローラ23の用紙搬送方向手前に 動させて、後方へ延設させることができるようになって 格納され、使用時には動5gを支点として矢示方向に回 在であり、後排紙トレイ5は不使用時には図示のように 【0020】上結紙カセット2及び下給紙カセット3

内には、図示を省略しているが、収納した用紙を昇降さ タ77等も内蔵されている。なお、大量給紙ユニット7 6と共用の給紙ローラ76、及びLCITドライブモー **チ付き搬送ローラ68,69,70、両面入口センサ7** ための結在ローラ74、結在ローラ75、両面ユニット からなる両面ユニット (DPX) 6が内蔵され、さらに 待機用搬送路66、用紙進路変更爪67、3組のクラッ 大量給預ユニット(LCIT)7からの用紙を給資する 1、両面出口センサ72、両面用ドライブモータ73等 【0021】テーブル10内には、反転用搬送路65、

サブリンタ本体1内には、上下2個の粘紙コロ19, 2

が内臓されている。 せるための機構及びその機構を駆動する駆動用モータ等

ョン・モータ)、および各種センサやスイッチ等が設け **せるための機構とその駆動用モータ(ジョブセパレーシ** 4,85をそれぞれ幅方向に移動させて排紙位置をずら 紙トワイ85、図示省略してごるが2段の排紙トレイ8 2、下段排紙ローラ83、上段排紙トレイ84、下段排 送ローラ80、用紙進路変更爪81、上段排紙ローラ8 【0022】大量排紙ユニット (LCOT) 8には、船

セット2、下結紙力セット3、あるいはLCIT7のい クエスト信号によりプリント動作を開始する。プリント 路および排紙経路を選択した後、プリントスタート・リ からの画像データ等をコントローラPCB52を介して タ、ワークステーション、ワードプロセッサ等のホスト いては後で詳細に説明するが、図示しないコンピュー 始め、レジストローラ 2 3 に突を当てた状態で一時停止 鉛角ローラ19,20,74のいずれかを慰慰して鉛紙 リントシーケンスが開始されると、所定のタイミングで ストローラ23に突き当てた状態で一時停止させる。ブ ーラ19,20,74のいずれかを駆撃して、上拾笊カ シーケンスが開始されると、所定のタイミングで結紙ロ プリントエンジンPCB51へ入力して処理し、給紙約 トレイ2,3,1のうちの過択されたトレイダの結集を 1,22,75のひずれかによって用紙を給送し、レジ ずれか選択されたものから給紙を開始し、給紙ローラ2 【0023】このレーザブリンタシステムの制御系にっ

対して転写チャージャ30を作動させて転写する。 現像ユニット35でトナーによって現像し、レジストロ しながら照射して露光し、潜像を形成する。その潜像を 応じて変闘されたレーザビームをドラム軸方向に主走査 面に、レーザ魯込みユニット40によって帝電された表 へ回転し、帯電部チャージャ34によって帯電された表 面に、レーザ雋込みユニット40によって画像データに ーラ23によって所定のタイミングで給送される用紙に 【0024】一方、感光体ドラム29は図1の矢示方向

排紙ローラ 2 6 による排紙が可能な状態になっていない だし、後排紙トレイ5が図1の矢印方向に回動して、後 場合等、特別な場合に後排紙トレイ5が選択される。た 排紙されるが、封筒や禁櫓などの腰の強い紙を使用する **イが選択されて、 グリントされた用紙はフェースダウン** る。なお、通常は大量抹倒ユニット8のいずれかのトレ 大量排紙ユニット8の上段排紙トレイ84、下段排紙| 33,81の回動位置によって用紙の進路を選択して、 って排紙部へ送出する。その際、用紙進路変更爪32, し、定着器31で加熱定着した後、送出ローラ25によ ら刺離して、搬送ベルト24によって定着器31へ搬送 レイ85、あるいは後排紙トレイ5のいずれかに排紙す 【0025】その転写された用紙を感光体ドラム29か

> いずれなの拝角トフムに拝角される。 て、前述と回様にして他方の面にプリントされ、その後 ミングで給紙ローラ76によって本体1へ送りこまれ ず反転用搬送路65に送り込まれた後、搬送方向を逆転 ル10内の両面ユニット6に送り込まれる。そして、ま プリントされた用紙は下搬送ローラ28によってテープ 時には、後排紙トレイ5を選択することはできない。 して待機用搬送路66へ搬送されて待機し、所定のタイ 【0026】両面印刷が選択されている時には、片面に

20 4B, 94C, 94D, 94Eによって直接接続してい めのMB・PCB93とを、それぞれ電源線94A,9 にはメイルボックス(MB)ユニット 9 2 を倒御するた アン54,55と、テープル10内の両面ユニット6お ントローラPCB52と、定着器31のヒータおよびフ 源ユニット58と、プリントエンジンPCB51と、ロ っている。同図において、レーザプリンタ本体1内の角 御茶の接続関係は図3のシステムブロック図のようにな 【0027】〔制御系のシステム構成〕この実施例の制 IT・PCB91と、メイルポックス9を装着した場合 よび大量給紙ユニット7を制御するためのDPX&LC

接続線95C,95Dによって接続する。 場合にはそれとの間も、それぞれ電源線と信号線を含む れとの間、大量排紙ユニット(LCOT)8を装着した って接続し、標準排紙ユニット4を装着した場合にはそ れぞれ電源線と信号線を含む接続線95A, 95Bによ む) 90との間及びコントローラPCB52との間をそ リントエンジン(PE)ユニット(図1の各機構部を含 【0028】 さらに、プリントエンジンPCB51とフ

ル97から画像データ等のデータを入力する。 ロセッサ等のホストシステムに接続し、この接続ケーブ 信号の授受を行なう。そして、コントローラPCB52 によって接続しており、これらの間では光通信によって オプチカルファイバ・ケーブル96A,96B,96C 示パネルPCB94との間を、それぞれ2本の送受信用 X&LCIT·PCB91, MB·PCB93, 操作表 を接続ケーノル97によって、コンピュータやワードノ [0029] また、プリントエンジンPCB51とDP

コンピユータを備えている。 B94は、それぞれその各部の制御を統括するマイクロ B91、MB・PCB93、及び操作表示パネル・PC の結局される。 グリントエンジンPCB51、ロントロ ンジンPCB51、あるいはコントローラPCB52か 示しない電源線を介して電源ユニット58、プリントエ -5PCB52、LCOT8、DPX&LCIT·PC 【0030】なお、操作表示パネルPCB94にも、図

50 び各PCBとその各種負荷及びセンサ等の接続状態につ 51と他の各PCB52,91,93,24間の接続及 **態)次に、この実施例におけるプリントエンジンPCB** 【0031】〔各PCBへの負荷・センサ等の接続状 £

特開平8-2790

数のガイド板等によって用紙搬送路が形成され、搬送系

ଞ

ラ26、上般送ローラ27、下拠送ローラ28、及び多 ラ23、搬送ベルト24、送出ローラ25、後排紙ロー 0、2対の給徴ローラ21,22、1対のレジストロー

接174から結成された電圧を整液及び降圧して、Vcc, Vcn, Vcn 及びVsn の電圧を出力し、これらの出力電圧をそれぞれプリントエンジンPCB51、コントローラPCB52, DPX&LCIT・PCB91及びMB・PCB93に結成する。なお、Vsnv の出力電圧は図示しないインタロックスイッチを介してプリントエンジンPCB51へ供給される。さらに、この電器ユニット58内には電圧切換回路が設けられ、この回路を通してメインファン55及びPCBバックファン54に、プリント中にはVsnv スタンバイ時にはVsnv よりも低いVcn の電圧を供給し、プリント中とスタンバイ時でファン速度を変えるようにしている。

(0033)また、プリントエンジンPCB51とDP X&LCIT・PCB91、MB・PCB93、及び操作表示パネルPCB94との間は、前述のようにそれぞれオプチカルファイバ・ケーブル96A、96B、96によってそれぞれ接続されている。この接続は、図4に示すようにプリントエンジンPCB51内の通信規御用インタフェース・ボートSIFと、PCB91内のCPU152、PCB3内のCPU157、PCB94内の図示しないCPUの各シリアルインタフェースポートSIFとの間を、オプチカルファイバ・ケーブルを介した光通信ラインによって接続することによりなされる。

M)と、半導体レーザ41の発光パワーを制御するパワ は、CPU142によってコントロールされるドラムカ 波形魁形した同期後知信号DETPもパデオコントロー 込みを制御する。なお、ポリゴンミラー44からの反射 イオードLDの発光輝度をホトダイオード P Dからのフ ロール回路により半導体レー炉殷豊回路によるレーザダ いる。ビデオコントロール回路149は、パワーコント 路を介してビデオコントロール回路149に接続されて レーザ41の駆動回路が直接及びパワーコントロール回 ドLDとモニタ用フォトダイオードPDを有する半導体 ーロントロール回路が設けられており、フーガダイメー ウンタ(不揮発性メモリNVRAMまたはE'PRO ル回路149に入力し、費込み開始磁気を規制する。 光を雷込み前に受光するフォトディテクタの検知信号を ードLDを点滅させ、図1に示したレーザ書込みユニッ **イードバック信号を用いて一定に制御させつひ、画像デ** 【0034】また、プリントエンジンPCB51内に ト40による感光体ドラム29へのプリントデータの歯 ータに応じた変調信号VIDEOによってレーザダイオ

(0035) さらに、このブリントエンジンPCB51(1035) さらに、このブリントエンジンPCB51には、大量抹紙ユニット(LCOT)8内の名部品、すなわち名抹紙トレイを左右に移動させるためのジョブセなわち名抹紙トレイを左右に移動させるためのジョブセスレーション・モータ、名抹紙トレイの左右位置を検出 50

表示部200も接続されている。なお、図4におけると

するセンサ、用紙造路変更爪81を駆動して上下の抹紙トレイを選択するためのプランジャ、下段出口スイット、上段出口スイッチ、上段出口スイッチ、上段及び下段及び下段抹紙トレイのオーバフローセンサ等が接続されている。

【0036】DPX&LCIT・PCB91には、両面 搬送用のクラッチ219、両面ドライブモータ73、両 面入口センサ71、両面出口センサ72、用紙進路変更 爪67を駆動するためのブランジャ67P、以下LCI T用の給紙クラッチ220、ドライブモータ77、ペー バサイズセンサ221、ペーパスタックの上下駆動用モータ222、カバーオープン・スイッチ223、上限ス イッチ224、下限スイッチ225、ペーパエンドセン サ226、トレイ下降用スイッチ227、及び両面部カ バーオープン・スイッチ228が接続されている。

【0037】また、メイルボックスPCB93には、敷送用モータ230、ピン衛無しセンサ231、ピンオーバフローセンサ232、メイルボックス入口センサ(フィードインセンサ)233、各ピンを左右に移動させるた235#1~235#9、各ピンを左右に移動させるためのジョブセパレーション・モータ240、各ピンの左右位置を検出するための左右スイッチ241及び右端スイッチ242とが接続されている。

[0038] コントローラ PCB 5 2は、プリントエンジン PCB 5 1内の CPU 14 2 及びビデオコントロール回路 149 とそれぞれ多数の信号線によって接続されると共に、フォントカートリッジ 12、13 並びにエミュレーションカード 14 にも接続される。また、操作表示パネル PCB 9 4 に V coの 電圧を供給する。

【0039】 (メイルボックス (MB) PCB) 図5は MB・PCB93の詳細を示すシステムプロック図である。MB・PCB93は、CPU157、アドレスラッチ回路161、プログラムメモリであるROM162、データメモリであるRAM163、拡張I/O164、ドライバ・レシーバ165、および適信制御用インターフェース回路166を備えている。

【0040】この実施図に係るメイルポッケス9は、1~9 にいて、10 にン目は一般(共通)の禁紙部となっている。#1ないし#8の9 にいには、それぞれ名にいの選択用ブランジャとしてロックブランジャ及び分岐所)ブランジャが設けられ、さらに、オーバーフローセンサ232#1~232#1~232#9、およびにン紙無しセンサ232#1~231#9が設けられている。また、このMB・PCB93には、前近の搬送モータ230やフィードインセンサ233の他にベーバジャムの場の除去用に設けたドアの関放を検知するドアスイッチ234やカードリーダ235を設けられている。また、ジャムの表示を分にアンオーバーフローその他の表示を行う表示部200よ、にソロックの解除や1Dコードの入力、およびその他の入力操作を行う操作部200bとからなる操作その他の入力操作を行う操作部200bとからなる操作

ン徴無しセンサ231やにンメーバフローセンサ232は、第1にンから第9にン(#1~#9にン)に加えて 井周の第10にン(#10にン)の資無しセンサミにンメーバーフローセンサを合むものである。

3

特開平8-2790

【0041】MB・PCB93のインターフェース回路166は、コントローラPCB52およびホストコンピュータと接続してもよいが、システム構成的に考えると、プリントエンジンとインターフェースし、メイルボックス9をレーサブリンタ1の一部として構成した方が、プリントする用紙の入力から排出まで全てプリントエンジンでカバーできるため続合的には好ましい。

【0042】 (出力表示モード及び出力許可モード) 図6および図7に、ホストコンピュータ側からメイルボックスのピンを豊僻していないユーザがメイルボックスに出力する出力表示モードの処理手順および出力許可モードの処理手順をそれぞれ示す。

装置に出力先のピン#Nを表示する(ステップS3)。 以上不可能である。そこで、この出力指示に応じてメイ ュータに自分で編集したテキスト等をメイルボックスに チャートに示すように、メイルポックスに対して自分が ことはないのでそのまま終了し、登録されたユーザがい ルポックス側で出力するピンを選択して出力し(ステッ ザから出力すべきピンを指定することは登録していない 出力するように指示すると (ステップS1)、このユー 使用するピンを登録していないユーザが、ホストコンピ はこれを受けて、他のユーザが当該登録されたユーザの コンピュータに他のユーザが出力した旨、通知する(ス 出力されたピン#Nに対して登録されたユーザのホスト ザがいなければ出力したものと他のものの混同が生じる かどうかチェックし(ステップS4)、 登録されたユー れによってホストコンピュータ側では、図示しない表示 S6)。これによって、登録されたユーザは自分のピン ピン#Nに出力した旨、表示被置に表示する(ステップ テップS5)。 登録されたユーザのホストコンピュータ れば、混同を生じたり機密保持上の問題が生じるので、 プS 2)、ホストロンピュータ飼ごその固通知する。こ #Nの状態を把握できる。 そして、このピン#Nに対して登録されたユーザがいる 【0043】すなわち、図6の出力表示モードのフロー

(0044)このように、自分のピンに他のユーザが出力すると自分の出力と祖同したり、機密性が保持できないこともあり得る。そこで、整盤されているユーザが他のユーザの使用の許可、すなわち出力の可否を設定できるようにしておく必要がある。

【0045】そこで、図7の出力許可モードのフローチャートに示すように、登録されているユーザは、ホストコンピュータからメイルボックスの出力許可モードに入る。このモードでは登録されているユーザは、自分以外のユーザに対する出力許可あるいは禁止をホストコンピュータから入力する(ステップS11)。ホストコンピ

ュータはユーザが指定したピン#Nが自身のものとして 登録されているかどうか確認し(ステップS 1 2)、登 録されていれば出力許可または禁止をメモリに設定する (ステップS 1 3)。もし、登録されていなければ、入 カエラーを入力したホストコンピュータの表示装置に表 示して(ステップS 1 4)終了する。

【0046】なお、ステップS11で、特定のユーザに対してのみ出力許可を与えたければ、出力許可、識別コードを入力する。これによってホストコンピュータは入りの力されたユーザの識別コードがネットワーク内に存在すれば、そのユーザに対してのみ、当該ピンの出力許可をはネス

[0047]

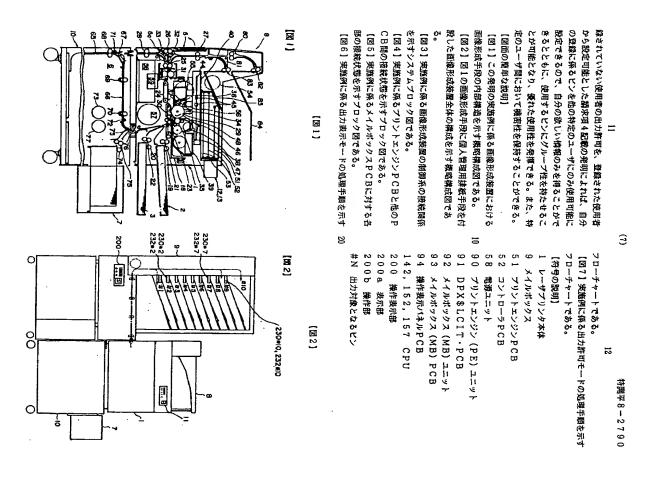
【発明の効果】これまでの説明で明らかなように、上述のように構成された本発明によれば、以下のような効果がある。

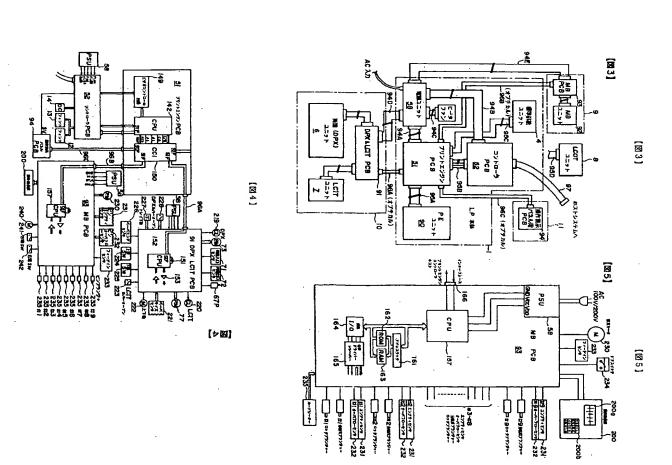
[0048]すなわち、ホストコンピュータからの出力情報を表示する表示手段と、メイルボックスの任意の収納段の使用者を登録する登録手段と、登録された使用者約段の使用者を登録する登録手段と、登録された使用者約段の使用者が登録された収納段に出力しようとしたとき、前記表示手段に出力先の収納段を表示させる船御手段とを備えた錦求項1記載の発明によれば、登録されていない使用者がメイルボックスを利用して出力しようとしたとき、出力先のピンをホストコンピュータの表示手段に再前に表示して当該登録していない使用者に通知するので、登録されていない使用者は、メイルボックスに出力用紙を取りに行ったときに、出力されたピンを探すとなく出力用紙を回収することができ、優れた使用性を発揮できるとともに、他人のピンを探す必要がないので、意図しないで機密が漏れるおそれもなくなる。

(0049) 制御手段が、登録された収納段に、当該登録された収納段に対して登録されていない使用者が出力したとき、登録された使用者のホストコンピュータの表示表面に、当該登録された使用者の光別によれば、登録された再者が出力された用義が出力された用紙を自分のピンから取り出すときに、他の使用者の出力した用紙と指同を生じないように注意して取り出すことができる。これによって優れた使用性を発揮できるとともに、他の使用者との语同が生たれた。

【0050】 制御手段が、登録された収納段に登録された使用者以外の使用者の出力の可否を設定可能な翻求項 3記載の発明によれば、機密保持が必要な場合には、他の使用者の使用を禁止し、機密保持が不要な場合は他の使用者の使用を許可してもよいので、他の使用者に対する使用の機会を与えることで、優れた使用性を発揮でき、使用を禁止することで機密性の保持を図ることができ、使用を禁止することで機密性の保持を図ることができ、使用を禁止することで機密性の保持を図ることができ、使用を禁止することで機密性の保持を図ることができ、使用を禁止することで機密性の保持を図ることができ、

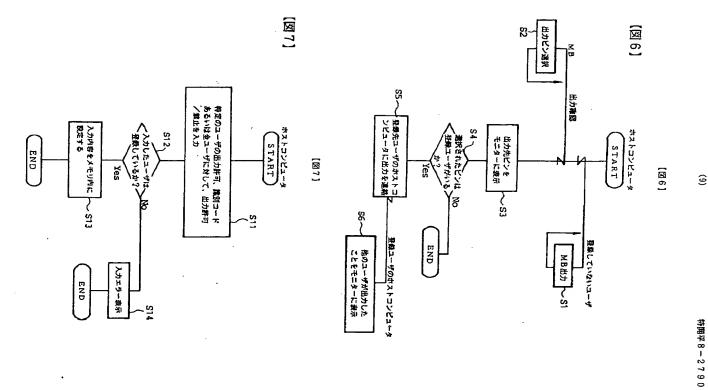
50 【0051】制御手段が、登録された収納段に対する登





8

特開平8-2790



ď

フロントスージの続き <u>e</u>

特開平8-2790

(72)発明者 成田 昌樹 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内

(72)発明者 駒井 洋 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式 会社リコー内